

和歌山県白浜町が船員の住民税減免を実施・船員税制・全国で 8 番目の自治体が誕生②

和歌山県西牟婁郡白浜町において、同町在住の長期外航勤務に従事する船員などに対する住民税減免措置が令和 7 年度（本年 4 月 1 日以降）から、新たに実施されることになった。

船員税制を実施している全国の地方自治体

- ①三重県・四日市市
- ②三重県・鳥羽市
- ③三重県・志摩市
- ④静岡県・焼津市
- ⑤愛媛県・今治市
- ⑥愛媛県・上島町
- ⑦高知県・宿毛市
- ⑧和歌山県・白浜町（本年度）

白浜町で海に親しむ活動

本組合の活動方針では、船員の確保・育成の推進のため、海に親しむ活動として、児童・生徒の海や船への関心の拡大や船員職業に関する認知度の向上を図るため、体験乗船や教育機関を訪問しての船員職業の魅力を伝える講話などを積極的に推進している。

白浜町においては、白浜町立第一小学校と第二小学校の児童を対象に、毎年、体験乗船や出前講座を実施しており、今年は 6 月 3 日に、白浜町教育委員会、近畿運輸局、近畿海事広報協会、近畿旅客船協会の協力のもと、南海フェリー株式会社の「フェリーあい」での体験乗船を実施した。また、昨年 12 月 13 日に、白浜町立第一小学校と第二小学校の 5 年生の児童を対象に出前講座を実施している。これからも船と船員の魅力を伝えていく。

「海員だより」